

ネット有害情報許さない

大学生らサイバーパトロール



県内の学生でつくるサイバー防犯ボランティアが16日、熊本市中央区の熊本学園大で、インターネット上の児童ポルノなどの有害・違法情報を発見し、通報するサイバーパトロールを実施した。＝写真

この日は、学園大、県立大、東海大、崇城大の学生計18人が約1時間、短文投稿サイトのツイッターをチェック。援助交際を意味する「円光」などを検索し、104件の不適切な書き込みを見つけ、運営会社に報告した。

初めて参加したとい

う崇城大1年の宮本果朋さん(19)は「これからもパトロールを続け、犯罪に巻き込まれる中高生を一人でも減らしたい」と話した。

(宮崎翼)